

けんこうニュース

発行所
奥津医院
 南足柄市生駒381
 電話 0465-74-0024
 発行人 奥津紀一

明けまして
 おめでとーばんざいませす



直道 画

日本の経済はまだまだ不況から脱出できずにおりますが、経済の新しいかたちに向かう動きが少しずつ始まってきたように感じます。また、人間関係の面でも、いろいろ事件がありましたように新しい秩序が求められているのではないのでしょうか。

奥津医院もこの不況の影響を受け、設備の更新など少し、スローダウンさせられて来ましたが、診療の面では、ここ数年力を入れて来ました在宅医療の分野で、医療技術の実施方法、

訪問看護ステーションとの連携などで成績を上げることができたと思います。

新年に入りましたら、外来診療の向上をめざしてコンピュータシステムを整備を行い、懸案となつております電子カルテの実施に向けて一歩踏み出す計画をしております。

スタッフ一同充実した医療に向けて一層の努力を致すつもりであります。

本年もよろしく
 お願い致します。

箱根駅伝
 メディカルサポートに参加
 順天堂大(院長 母校)優勝

一月二日、例年のように箱根駅伝のメディカルサポートに参加しました。

参加選手が、ケガをしたり、体の具合が悪くなつたときに適切な処置をするために、各中継所に、順天堂大OBが二名づつ待機しています。

このところ、母校、順天堂の成績があまり良くなく、せつかく参加してもさびしい思いをしていました。

「今年は少し期待できそう」



だ」というニュースが伝わっていましたが、私が待機する小田原中継所に、二位で入つて来た時には大変嬉しい思いでした。

翌日、最終的には優勝ということで、久し振りに快哉を叫びました。

カルテ開示

院長

湧言飛語



厚生省は医療機関に対し、患者さんに本人のカルテを見られるようなシステムを作るよう指示することを検討しはじめています。

たしかに大切なことだが、カルテを患者さんにわかるように書くには、かなりの時間と労力を必要とする。

カルテやレントゲン写真などの診療の資料を患者さん本人に渡してしまえば、医療機関としても保存の必要がなくなるので大いに助かる。

こついうことをスムーズにしても問題が起らない様に実施するためにはコンピューターを利用するしか方法がない。

コンピューターのプログラムをうまく作ることによつて患者さんにも分かりやすい、医者に便利という電子カルテを作らなければいけない。かなり難しい仕事だ。

南足柄市
 総合保健医療・福祉センター
 今秋完工の予定

南足柄市が、昨年より現在の保健センター隣接地に建設を進めている、総合保健、医療、福祉センターは今年の十月竣工する予定になつています。

検診、予防接種、保健指導、リハビリテーション、訪問看護ステーションなど、これまでの保健センターでやって来た業務を引きつぎ、その内容を充実することをめざしています。

さらに、夜間診療所の開設も検討されていますが、予算の関係でむずかしそうです。

医師会としては、訪問看護ステーションが二十四時間機能するよう要望していますが、この方もまだハッキリした返答を得ていません。

